

2020年7月19日(日)朝10:10  
7月第3共同主日礼拝式説教

聖霊降臨第8、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：古いものと新しいものとの譬えと 説き明かし(47～50)

聖書:マタイ 13章51～52節

＜口語訳＞

新約聖書22～頁

マタイ 13章51～52節

＜新共同訳＞

新約聖書26～27頁

マタイ 13章51～52節

＜新改訳第3版＞

新約聖書27～ 頁

マタイ 13章51～52節

＜塚本訳＞

新約聖書109～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ **マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇ **マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇ 本日の**マタイ13:51～52節**は、「**古いものと新しいものとの譬えと説き明かし(47～50)**」です。
- ⇒「**古いもの**」、「**新しいもの**」は、「**旧約聖書**」と「**新約聖書**」と理解されています。
- ⇒「**旧約聖書**」は、「**神の御子イエス・キリスト様**」の来臨を預言した者です。
- ⇒「**新約聖書**」は、「**神の御子イエス・キリスト様**」のなされたことをあかしするものです。
- ⇒**マタイ13:52節**で「**天の国のことを学んだ学者は、自分の倉から新しいものと古いものを取り出す一家の主人に似ている。**」と主は、言われました
- ⇒教会とキリスト者は、「**旧約聖書**」「**新約聖書**」を**神のみことば**として味わえるということです。

本論；

◇本日、**マタイ書13:51～52節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ13章51～52節**；使徒**マタイ**は、「**古いものと新しいものとの譬えと説き明かし** (51、52)を通して、「**神(天)の国**」の隠されている「**神の真理・真実**」が、示されていると、あかししています。

◇**13:51～52節**；塚本訳◆**譬の理解**

「51 あなた達はこれが皆わかったか。」「はい」と弟子たちがこたえる。

52 イエスは言われた、「(これがわかれば、すべてがわかるのである。)だから天の国のことに通じた学者は皆、自分の倉から新しいものと古いものとを(心のままに)取り出す家の主人に似ている。(古い教えと新しい教えとを自由に使いこなすことが出来る。)」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**マタイ13:51～52節**；は、「**古いもの**」と「**新しいもの**」との「**譬え**」を用いて、弟子たちを養おうとしておられます。

⇒弟子は、天国を学んだ学者です。

- ⇒「天国を学んだ学者」とは、専門学府を終了したという意味ではなく、**御子イエス・キリスト様**から「**神(天)の国**」を学び、その教えに従っているということです。
- ⇒「主の天の倉」から自由に取り出せる主人のような者にさえたのです。すなわち、**神の奥義**を習得できたと、主に認められたのです。
- ⇒「主のような者」であって、主と同じではありません。まだなお、罪人です。ただ、罪赦された罪人です。
- ⇒「だから」と、主は語られ、「主の倉(奥義)」の管理を任せたと行ってくださるのです。
- ⇒管理者に求められるのは、①主の倉の管理、②古いものと新しいものを仕分ける事です。
- ⇒倉には、会計管理、伝道、教育、牧会など、多くのわざがあり、パウロも、ペテロも、性格も、資質も、全く違う管理に供するものが備えられています。
- ⇒教会には、多種多様の人材を主は用意されています。
- ⇒倉の管理には、管理を任せて下さった主に忠実なことのみ求められ、互いの評価は不要。

47 さらに、天の国は地曳網を海におろしてあらゆる種類(の魚)を取るのに似ている。

48 網が一ぱいになると岸に引き上げ、坐って、良いのは集めて入れ物にいれ、わるいのは投げすてるのである。

49 世の終わりもそれと同じであろう。すなわち天使たちがあらわれ、義人の中から悪人どもを引き出して、

50 火の燃える炉に投げ込み、彼らはそこでわめき、歯ぎしりするであろう。

◇**マタイ13:47～50節** ; 「さらに、天の国は地曳網を海におろしてあらゆる種類(の魚)を取るのに似ている(47)」、「網が一ぱいになると岸に引き上げ、坐って、良いのは集めて入れ物にいれ、わるいのは投げすてるのである(48)」、「世の終わりもそれと同じであろう。すなわち天使たちがあらわれ、義人の中から悪人どもを引き出して(49)」、「火の燃える炉に投げ込み、彼らはそこでわめき、歯ぎしりするであろう(50)」、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**地引網の譬え**」でも、良いものと悪いもの選別があること

を示しておられます。

⇒しかし、気をつけることは、**神**が世の終りに選別されるのであって、人が勝手に選別することではありません。

⇒寧ろ、「**神の正しさ**」に、心をとめることです。

**マタイ13:52**で、「学者」ということばが、出ていますが、基本的意味は、「学ぶ者」、「学びたい者」です。当時は、律法学者があり、聖書を自由に語ることができました。

⇒しかし、主は、「**神(天)の国**」について、弟子たちに語っておられたので、一般的学者ではなく、「**御子イエス・キリスト様の中の神の真理・真実**」を学び、聴き従うことでした。

⇒**OA師**が、語っておられるように、主を真実に信じ、主にお従い心を持っている者が弟子であり、主に聴きしたいと願っているのです。

⇒「**神(天)の国**」は、**神のご支配**です。「**譬え**」は、人の目に隠されている「**神(天)の国**」と示されるものですから、素直に主に聴き、信頼と愛と期待をもって向き合いうる者には、見えて来るものなのです。霊のものは、霊で見えるものだからです。

- ⇒**KT師**が、語っておられるように、**神への信仰**を持って生きる者には、**神**が常に共にいて下さることが霊の目を通して見え、真実込めて祈れるのです。
- ⇒一般社会でも、誠実でない態度と姿勢は、相手には分かるのです。
- ⇒祈りも、長短より、心がこもったものを**神**がお求めのものであり、人の会話でも、同じです。
- ⇒「**地引網の譬え**」も、他の**譬え**同様、主の働きを意味します。
- ⇒主の地上の働きは、働きの場所も、年月の小さいものです。今、主の働きは、無視できない広がりを持っています。
- ⇒私たちの心にも、「**悪魔・悪霊**」は、悪いもの、主のお喜ばれない思いを投げ込みます。不安にさせます。私には、悪を行う思いはないと言いつけたりもします。
- ⇒しかし、悩む必要はありません。罪は今も、私たちを支配していますが、生ける神にあって、私たちは死に、**御子イエス・キリスト様への信仰**によって、生かされているからです。頑張ったり、気張ったりせず、ただただ、罪赦さ

れた恵みを讃美しましょう。

⇒**地引網**の魚を一杯にして下さるのは、主ですし、食用にならない魚を選別して、火の燃える炉に投げ入れるにも、主です。

⇒私たちのすべきことは、網の大きさでもなく、収穫の多い、少ないに一喜一憂して思い煩うことでもありません。

⇒教会の大小も、人材の有り無しも、主の前には、関係ありません。僅かの魚とパンで、主は、4,000人、5,000人を養うお方です。

⇒必要なのは、「主の用なり」で、主が求められたことを忠実に行うことです。

⇒結果より、感謝、讃美、祈りです。

⇒教会にも、私の心にも、食用に供しないものが、混ざり込み、自分も、他の人も、傷つけています。

⇒【口語訳】 ロマ 7:4

わたしの兄弟たちよ。このように、あなたがたも、キリストのからだをとおして、律法に対して死んだのである。それは、あなたがたが他の人、すなわち、死人の中からよみがえられたかたのものとなり、こうして、わたしたちが神の



ために実を結ぶに至るためなのである。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日の**マタイ13:51～52節**は、「**古いものと新しいものとの譬えと説き明かし(47～50)**」です。
- ⇒「**古いもの**」、「**新しいもの**」は、「旧約聖書」と「新約聖書」と理解されています。
- ⇒「旧約聖書」は、「**神の御子イエス・キリスト様**」の来臨を預言した者です。
- ⇒「新約聖書」は、「**神の御子イエス・キリスト様**」のなされたことをあかしするものです。
- ⇒**マタイ13:52節**で「天の国のことを学んだ学者は、自分の倉から新しいものと古いものを取り出す一家の主人に似ている。」と主は、言われました
- ⇒教会とキリスト者は、「旧約聖書」「新約聖書」を**神のみことば**として味わえるということです。

⇒教会の管理が託された主の倉には、主にお仕えする多種多様のものがあり、誰の必要にも答えるものが満ちています。

⇒但し、「**神の御子イエス・キリスト様**」への信仰という鍵が必要なのです。その倉には、**神信仰者**以外には、無価値の奥義、主の喜んでお仕えするものしかないからです。

⇒【口語訳】 エペソ3:8～9;

すなわち、聖徒たちのうちで最も小さい者であるわたしにこの恵みが与えられたが、それは、キリストの無尽蔵の富を異邦人に宣べ伝え、更にまた、万物の造り主である神の中に世々隠されていた奥義にあずかる務がどんなものであるかを、明らかに示すためである。